

# ビッグフローティングディスクローターキット 取扱説明書

製品番号 06-08-0107

適応車種及び  
フレーム番号 Z125 PRO(BR125H-A02621～)  
Z125 / Z125 PRO(タイ仕様)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎アルマイト製品は経年変化により、色褪せ等発生する場合があります。予めご了承下さい。

◎取扱説明書や純正サービスマニュアルは、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。

取り付けに自信の無い方や、取り付けに必要な工具等をお持ちで無い場合は、取り付け作業は行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。

◎車両に部品を取り付けた後、走行する前にブレーキパッドがディスクにしっかり当たり、ブレーキが完全に効くまでブレーキレバーの操作を行って下さい。

◎新品状態で行き成りハードブレーキ操作を行わないで下さい。最初は軽いブレーキ操作で徐々にブレーキディスクに当たりを付け、一旦ブレーキ温度を冷まします。ディスクローターとブレーキパッドが完全に当たりが付くまでこの操作を行って下さい。

又、ブレーキは冷えている場合効きが悪い状態、ある一定の温度に上がらなると安定した制動力を発揮しません。十分注意してご使用下さい。

◎新品のディスク、ブレーキパッド装着後はブレーキの効きが悪い状態です。当たりが出るまでブレーキの効きに十分注意しながら走行を行って下さい。

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品の取り付け作業の際は、上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し確実に行って下さい。

◎ディスクローター径を大きくする事で、ホイールとブレーキキャリアとのクリアランスが狭くなります。ノーマルディスクローター使用時に比べメンテナンス性が悪くなります。予めご了承下さい。

◎当製品はKSRI110には使用出来ません。

## ～特徴～

○ノーマルのキャリアをそのまま使用出来る為、コストパフォーマンスに優れています。

○ローター径を大きくし、有効径をφ170→φ192へアップさせ制動力を大幅にアップさせています。

○外径形状はノーマル同様、ウェーブ形状を採用する事で、冷却性能とブレーキパッドのクリーニング効果を向上させ安定した制動力を発揮します。

○ブレーキング時、ローターの熱歪みにより摩擦面精度が低下し、ブレーキ性能低下を引き起こす事があります。当製品はフローティングディスクローターを採用しており、ホイール取り付け部のハブとディスクローター部を2ピース構造にする事により、ローターの熱歪みによる影響を最小限に抑え安定したブレーキ性能を維持する事が出来ます。

○ディスクローター部はメンテナンス性に優れたステンレス製を採用し、取り付けハブ部には高強度なアルミ合金材を使用し軽量、高強度に仕上げております。又、ゴールドアルマイト処理により耐食性と質感を向上させ、取り付け時のカスタム感を演出します。

**⚠ 注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）

■製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。

（部品の脱落の原因となります。）

**⚠ 警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させないで下さい。万一、付着した場合、パッドは交換し、ディスクローターは脱脂を行ってください。（事故に繋がる恐れがあります。）

■損傷部品が見つければその部品は再使用せず、必ず新品と交換を行ってください。（事故に繋がる恐れがあります。）

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

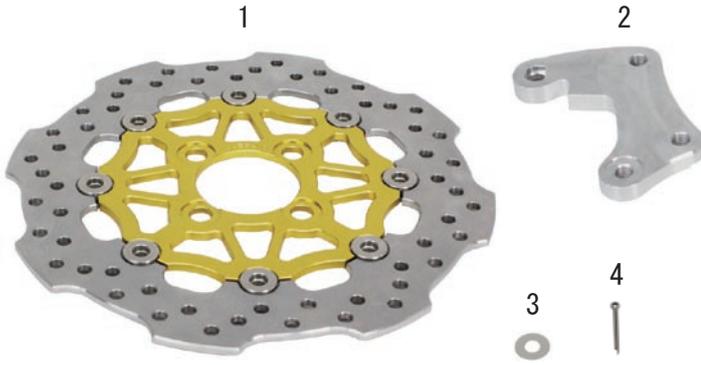
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857



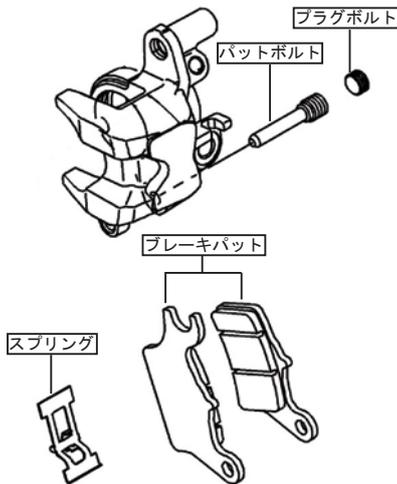
番号	部品名	個数	リペア品番
1	ディスクローター COMP.	1	00-06-0111
2	キャリアパーホルダー	1	45290-BR1-T00
3	シムリング (8x16x0.5)	1	00-00-0701
4	割りピン 2.5x25	1	00-00-0645 (3ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

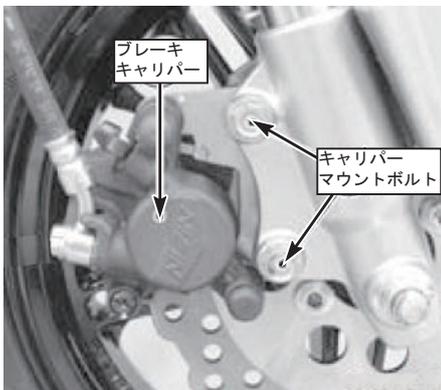
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

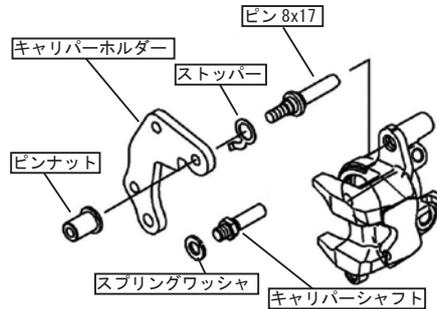
- 車両をしっかりと安定させます。
- ブレーキホースを交換する場合、又は一旦ブレーキホースを取り外して作業する場合は、純正サービスマニュアルを参照しブレーキフルードを抜き、ブレーキホースをブレーキキャリアパーから取り外します。
- ブレーキキャリアパーのプラグボルト、パットボルトを外し、ブレーキパットを取り外します。



- キャリアパーマウントボルトを外し、フロントフォークからブレーキキャリアパーを取り外します。
- ※ブレーキホースを取り外さずに作業している場合、ブレーキホースに負担が無い様にブレーキキャリアパーを固定させておきます。

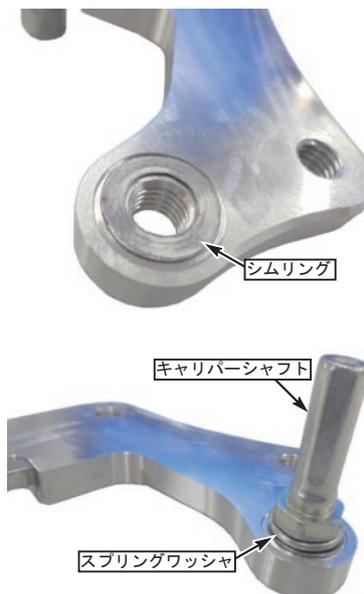


- ブレーキキャリアパーからキャリアパーホルダーを取り外します。
- キャリアパーホルダーからピンナットを外し、ピン 8x17 及びキャリアパーシャフトを取り外します。



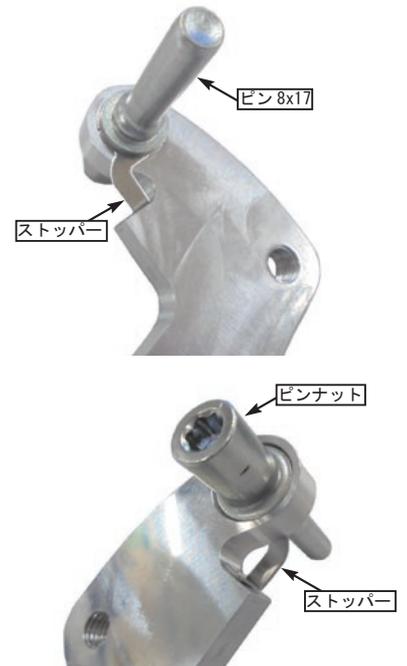
- キット内のキャリアパーホルダーに、シムリングをザグリ部に合わせ、スプリングワッシャー、キャリアパーシャフトを取り付け規定トルクまで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
キャリアパーシャフト  
トルク：17.2N・m (1.75kgf・m)



- キャリアパーホルダーにストッパー、ピン 8x17 の順に、キャリアパーホルダー切り欠け部とピン 8x17 の切り欠け部を合わせ、ピンナットにネジロック剤を塗布し、裏面からピンナットを取り付け規定トルクまで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ピンナット  
トルク：22.1N・m (2.25kgf・m)



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○ピン8x17とキャリパーシャフトのシャフト部にシリコングリースを塗布しブレーキキャリパーを差し込み取り付けます。



○ブレーキキャリパーにスプリング、ブレーキパットをセットし、パットボルトを取り付け規定トルクまで締め付け、プラグボルトを取り付けます。

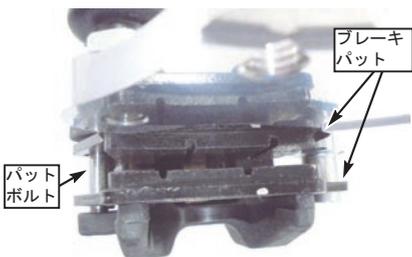
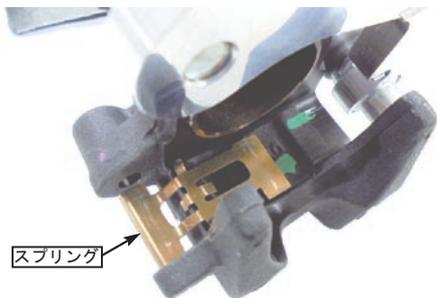
▲注意：必ず規定トルクを守る事。

パットボルト

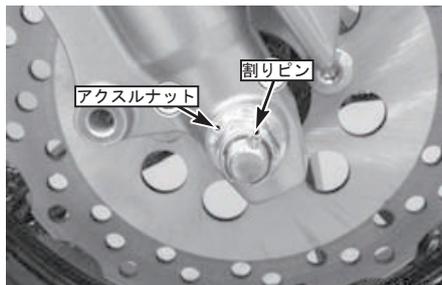
トルク：17.2N・m (1.75kgf・m)

プラグボルト

トルク：2.5N・m (0.25kgf・m)



○フロントアクスル部の割りピンを外し、アクスルナットを緩めます。

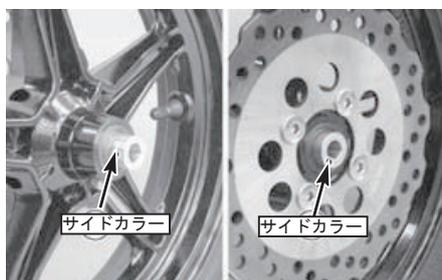


○フロントアップスタンド等を使用し、フロントホイールをジャッキアップします。

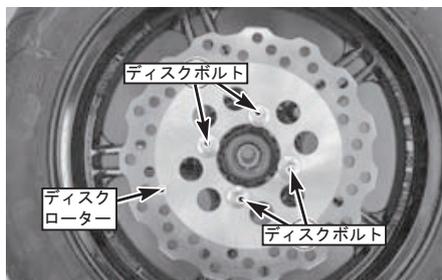
▲注意：必ず車両を安定させる事。

○アクスルナット、アクスルシャフトを取り外し、フロントフォークからフロントホイールを取り外します。

○取り外したフロントホイールから、左右のサイドカラーを取り外します。



○ディスクボルト4本を取り外し、フロントホイールからディスクローターを取り外します。



○フロントフォークにキャリパーホルダーを、キャリパーマウントボルトを用いて取り付け規定トルクまで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

キャリパーマウントボルト

トルク：25N・m (2.75kgf・m)



○フロントホイールに、ガスケット、キットのディスクローターを取り付け、新品のディスクボルト4本を用いて取り付けます。

この時完全に締め込まず、ホイールとディスクローターの隙間を5mm程度をあけて取り付けます。

(ブレーキキャリパーの位置変更の為、ホイール取り付け時にホイールとブレーキキャリパーが干渉する為です。)

カワサキ純正

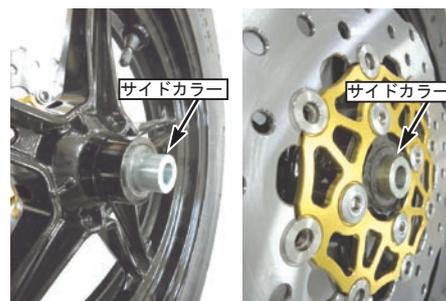
：92150-1771 ソケットボルト 8x30

※ディスクボルトを再使用する場合、ネジロック剤の塗布をお願いします。

推奨ネジロック剤：ロックタイト 241



○取り外したサイドカラーの汚れを拭き取り、フロントホイール、ダストシールリップ部にグリースを塗布しフロントホイールに左右のサイドカラーを取り付けます。



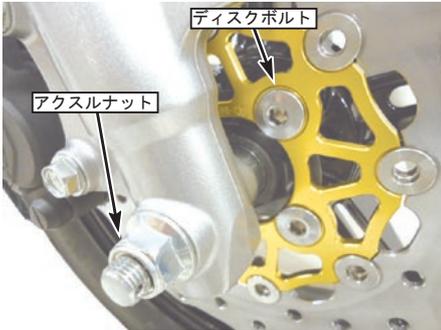
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○アクスルシャフトの汚れを拭き取り、アクスルシャフトのシャフト部に薄くグリースを塗布し、フロントフォークにフロントホイール、アクスルシャフトを取り付けます。

グリース塗布



○アクスルナットを取り付けます。  
フロントのジャッキアップを外し、フロントホイールを安定させた状態で、ディスクボルト4本及びアクスルナットを規定トルクまで締め付けます。



▲ 注意：必ず規定トルクを守る事。  
アクスルナット  
トルク：64N・m (6.5kgf・m)  
ディスクボルト  
トルク：27N・m (2.6kgf・m)

○キット内の割りピン 2.5x25 をアクスルシャフトに取り付けセットします。



○作業で付着した汚れをよく拭き取ります。

▲ 警告：ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。  
万一、付着した場合、パッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。

○ブレーキホースを交換される場合、又はブレーキホースを外し作業された場合、ブレーキホースキットの取り付け要領又は純正サービスマニュアルに従い作業を行い、エア抜き作業を行います。

○ブレーキパッドがディスクにしっかり当たり、ブレーキが完全に効くまでブレーキレバーを操作します。